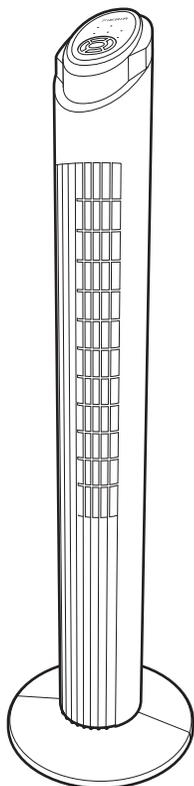


タワーファン FTQ-901

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。

も く じ

| | |
|--------------------------|--------|
| 安全上のご注意 | …P1～P2 |
| 各部の名称とはたらき | … P3 |
| 組み立てかた | … P4 |
| 正しい使いかた | …P5～P7 |
| お手入れと保存 | … P8 |
| 修理・サービスを依頼する前に | … P9 |
| 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について | … P10 |
| アフターサービスについて | …裏表紙 |
| 保証書 | …裏表紙 |

仕 様

| | |
|---------|-------------------------------|
| 電 源 | AC100V 50/60Hz |
| 定格消費電力 | 50Hz:26W/60Hz:28W |
| 電源コード長さ | 約1.8m |
| 外形寸法 | 約 幅 25.5 × 奥行き 26.5 × 高さ 93cm |
| 質 量 | 約2.7kg |

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

| | |
|--|---|
|  警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。) |

図記号の意味と例

| | |
|---|--|
|  | ⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。) |
|  | ●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。) |

警告

| | | | | | | |
|---|---|--|--|---|---|---|
|  禁止 | 交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。 |  禁止 | 本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。 |  プラグを抜く | 使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。 | |
| | 製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、電源プラグを差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。 | | 異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。 | | お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。 | |
| | 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。 |  指示 | 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。 |  分解禁止 | 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。 | |
| | 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。 | | 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。 | |  ぬれ手禁止 | ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。 |
| | 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。 | | 組み立ての際、ベース部をしっかりと固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。 | |  水ぬれ禁止 | 水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。 |

⚠ 注意

| | | | | | |
|--|---|---|---|---|--|
|  指示 | 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。 | | 送風口や吸気口に指などを入れない。 けがの原因になることがあります。 | | 次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。 |
|  禁止 | 風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。 |  禁止 | 不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になることがあります。 |  禁止 | お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。 |
| | ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になることがあります。 | | 髪を送風口や吸気口に近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。 | | 首ふり動作中の扇風機を無理に正面に向けない。 破損・故障・異音などの原因になることがあります。 |

各部の名称とはたらき

本体操作部

切タイマーランプ

風量ランプ

リモコン受光部

リズム/おやすみ風
運転ランプ

③

②

①

⑤

④

リモコン

送信部
本体のリモコン受光部
に向けてください

⑤

④

③

②

①

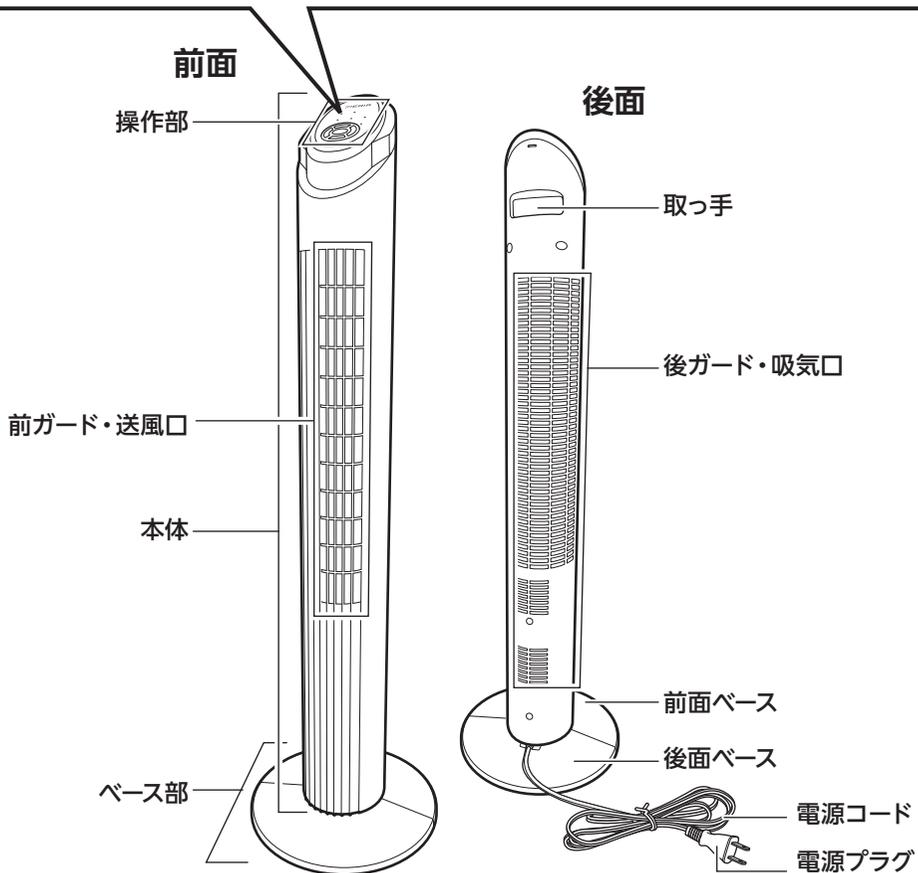
① 電源ボタン 運転の開始/停止します

② ≡ 風量ボタン 運転中、風量を変更します

③ ⌚ 切タイマーボタン 切タイマーの時間を設定します

④ ~ 首ふりボタン 運転中、首ふりの開始/停止します

⑤ 🎵/🌙 リズム/おやすみ風機能の切り替えをします
※長押しで操作部のランプが🌙減光モードに設定されます



梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

| | | | |
|------------------------|----|-----------------------|----|
| 本体 | 1個 | リモコン | 1個 |
| 前ベース | 1個 | コイン形電池 (CR2025) | 1個 |
| 後ベース | 1個 | 取扱説明書 (保証書含む) | 1個 |
| ベース固定ネジ (本体に取付済) | 3個 | | |

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

組み立てかた

ベース部の組み立て

使用する前に、ベース部を組み立てます。

1. 本体底面に取り付けられているベース固定ネジを取りはずす

安定した台の上に本体を横にして、本体底面に取り付けられているベース固定ネジ3個を回して取りはずしてください。

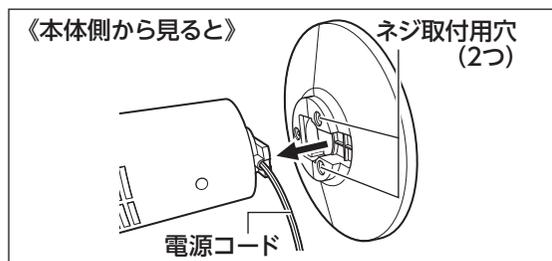
※ ベース固定ネジは、コインなどで回すことができます。

※ 組み立ては机などの台の上で行なってください。机などを傷つけないよう注意してください。

2. ベースを組み立てる

ベースを裏向きにし、前面ベースの突起（4か所）に後面ベースの穴（4か所）を合わせてしっかりと差し込んでください。

3. 本体にベースを取り付ける



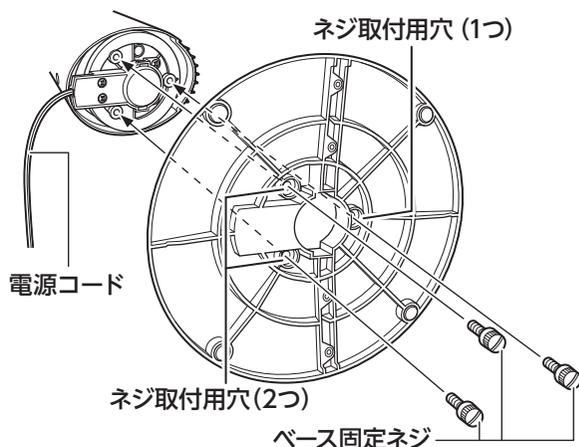
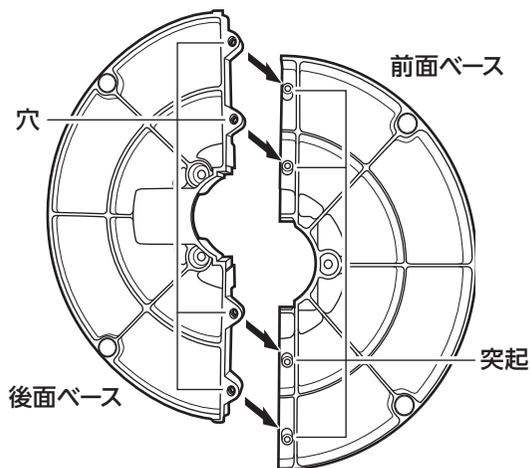
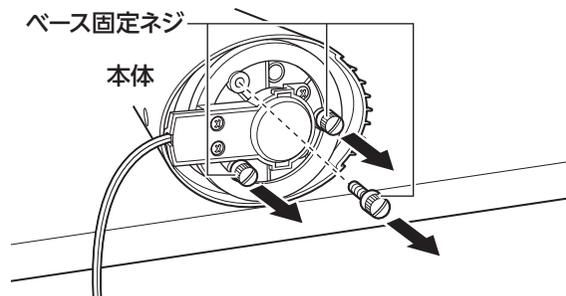
ベース部のネジ取付用穴が2つある側を本体の電源コードが出ている側にして、本体とベース部の取り付け穴（3か所）を合わせ、ベース固定ネジ3個でしっかりと固定します。



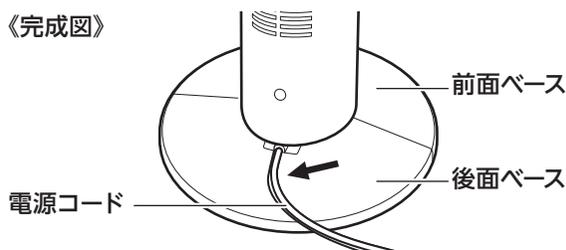
注意

- ベース固定ネジを強く締めすぎない。ベース部が割れてしまうことがあります。
- ベース部と本体の間に電源コードをはさみこまないようにする。電源コードを傷つけてしまい、火災や感電、故障の原因になります。

- ベース固定ネジを取り付けたあと、ベースを床において本体を立て、電源コードが本体の後ろから出ていて、挟まっていたりしないことを確認してください。
- さらに前面ベースと後面ベースの間にすきまがないか、本体を揺らしてみても異常に傾く方向がないか確認し、異常があったときは、最初からやり直してください。



《完成図》



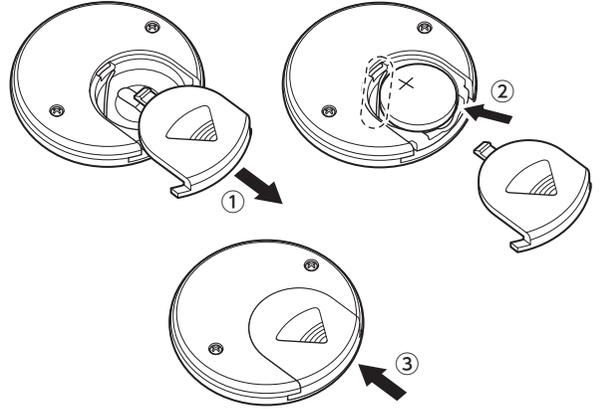
正しい使いかた

使用前の準備

電池を入れる

下記の手順で付属のコイン形電池を入れてください。

1. リモコンから電池カバーをはずす①
2. リモコンにコイン形電池を入れる②
電池カバー側を⊕ (コイン電池の平面側) にします。
内部の斜めにある金属をコイン電池で押し込む
ようにしてコイン形電池を入れてください。
3. 電池カバーを取り付け、「カチッ」と音がするのを確認する③



使用可能範囲

- 本体正面から直線で約5m
- 本体正面から左右に約30度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

通常の使用

1. 本体を安定した水平な場所に設置する
ベース部がはずれていないか、電源コードをベース部ではさんでいないかなど確認してください。
※必ずベース部を下にして、本体を立てて、吸気口・送風口をふさがずに使用してください。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押すと、運転を開始します。

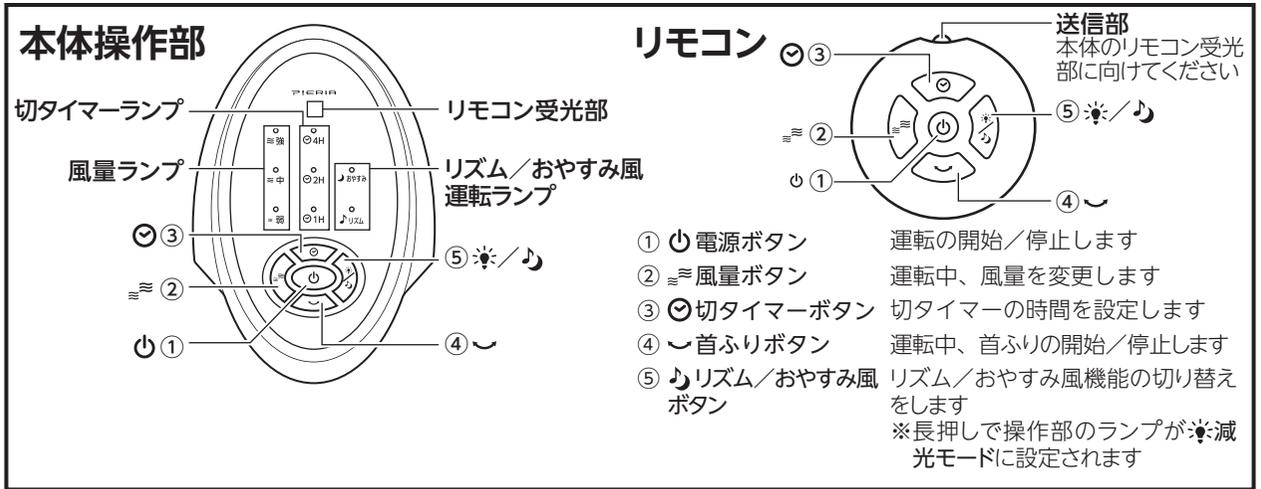
- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふりで運転を開始します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押したときには、弱風・首ふりなしで運転を開始します。

メモリー機能

本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます (風量・首ふり)。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 風量: 弱風、首ふり: なし



2. 風量を調節する

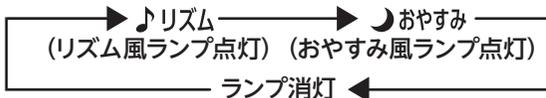
本体またはリモコンの風量ボタンを押して風量を調節してください。



※ 設定された風量の風量ランプが点灯します。

3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンのリズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。



運転中に本体またはリモコンのリズム／おやすみ風ボタンを長押し (3秒以上) すると、表示部・運転ランプが減光モードに設定されます。

4. 首ふり運転を開始／停止する

運転中に本体またはリモコンの首ふりボタンを押すと、首ふり運転を開始します。もう一度押すと首ふり運転を停止します。

リズム／おやすみ風機能について

リズム風 (リズム風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの風量ボタンを切り替えることで風量パターンが変化します。

おやすみ風 (おやすみ風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの風量ボタンを切り替えることで次のように風量パターンが時間とともに変化します。

≡ 強 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

≡ 中 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

≡ 弱 弱リズム風 と同じです。

※ おやすみ風運転中、風量が変わっても風量ランプは設定時の表示から変化しません。

正しい使いかた(つづき)

5. 切タイマー (時間) を設定する

切タイマーは、設定した時間に合わせて自動的に運転を停止する機能です。

運転中に☉切タイマーボタンを押すと、切タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。切タイマーは最長4時間まで設定することができます。

※切タイマーをキャンセルするには、切タイマーランプが消灯するまで☉切タイマーボタンを何度か押してください。

6. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押すと、運転を停止します。

切り忘れ防止機能 (オートオフ機能)

本体またはリモコンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を自動的に停止します。

7. 電源プラグをコンセントから抜く



警告

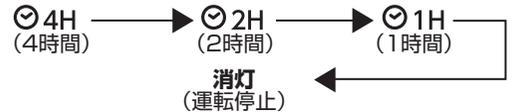
使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

切タイマーランプについて

☉切タイマーボタンを押すごとに、切タイマーランプは下のように切り替わります。



切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに切タイマーランプが移り変わり、切タイマーが働くまでの時間を表示します。



設定した時間が経過すると、切タイマーが働き、切タイマーランプは消灯し、運転を停止します。

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

お手入れ

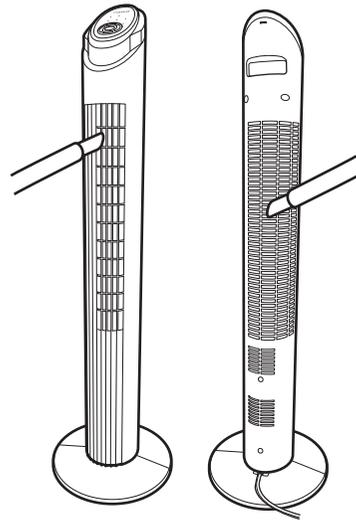
本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

送風口・吸気口のお手入れ

送風口と吸気口についたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
 - ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
 - お買い上げの商品が入っていた箱に入れて保存するときは、「組み立てかた」(4ページ)と逆の手順で分解してください。
- ※ ベース固定ネジをなくさないように、本体に取り付けて保存してください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

| 症状 | 主な原因 | 処置 |
|--------------|-------------------------|--|
| 送風されない | ・電源プラグが抜けている | 電源プラグをコンセントに差し込む |
| 突然運転が止まる | ・切り忘れ防止機能 (7ページ) が働いている | 本体またはリモコンの  電源ボタンを押して電源を入れる |
| 運転時に大きな音がる | ・ベース部が正しく取り付けられていない | ベース部を正しく取り付ける |
| リモコンから操作できない | ・リモコンの電池が切れている | 新しい電池に交換する |
| | ・コイン形電池が逆に入っている | コイン形電池を正しく入れる (「電池を入れる」5ページ) |
| 風の吹き出しが弱い | ・吸気口や送風口にホコリがたまっている | ホコリを掃除機などで取り除く |
| | ・吸気口をふさいでいる | <ul style="list-style-type: none"> ・吸気口をふさがない ・吸気口をふさいでいるものを取り除く |

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

| | |
|---|--|
|  | [製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります) [設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります) |
| | 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。 |

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件 (JIS C9921-1による)

| | | | |
|------------|----------|-----------|-------------|
| 環境条件 | 電圧 | AC 100V | 製品の取扱説明書による |
| | 周波数 | 50Hz/60Hz | |
| | 温度 | 30℃ | |
| | 湿度 | 65% | |
| | 設置 | 標準設置 | |
| 負荷条件 | | 定格負荷(風速) | |
| 規定時間 など | 運転時間 | 8h/日 | |
| | 運転回数 | 5回/日 | |
| | 運転日数 | 110日/年 | |
| | スイッチ操作回数 | 550回/年 | |
| | 首振運転の割合 | 100% | |

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。